

# グリーンルーム

鹿児島市立美術館だより

館藏品誌上ギャラリー ㊿



藤島武二「潮岬風景」1931年

鹿児島市立美術館

〒892-0853  
鹿児島市城山町4-36  
TEL (099) 224-3400  
FAX (099) 224-3409



Kagoshima City Museum of Art

## 表紙の作品

藤島武二 (1867~1943)

### 「潮岬風景」

1931年 油彩・キャンバス 33.8×45.9

藤島武二は、60歳を過ぎてから75歳で没するまでの10数年間に多くの風景画を描いている。そのモチーフは日の出と海景に大別できるが、本作品は藤島が海景に本腰を入れて取り組み始めた当初の制作になる。

そのきっかけは、昭和6年に宮中の花蔭亭パネル制作を依頼されたことにある。モチーフを紀州潮岬と決めた藤島は同年5月6日、早速潮岬へと赴いた。灯台近くに住む神官の潮崎巖の家に逗留し、6月3日に同地を離れるまでの約1ヶ月、海景を中心に約40点の油彩画を描いている。

本作品は、この時に描かれたものの一つである。画面のほぼ中央を水平線によって二分しながら、基底部を岬の丘陵地でおおうという安定した構図の中に外洋を望む穏やかな光景が広がっている。当時64歳の藤島は毎朝3時に起床し、1日に1点を越すペースで様々な構図の潮岬風景を描いた。本図も現場で短期間のうちに完成されたのであろう。穏やかな海景画ではあるが、簡潔で力強い藤島らしい筆致を見ることができる。

花蔭亭のパネルは同年末に完成したが、これ以降も藤島は数多くの海景画を残しており、作画活動後半期の重要なモチーフとなった。